6．積立金の明細

（単位：円）

区　　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　　要
通則法44条1項積立金	239,772,845	98,014,256	—	337,787,101	㈱
計	239,772,845	98,014,256	—	337,787,101	

㈱　当期増加額は、前期の開発振興勘定の利益処分によるものです。

7．運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

⑴　運営費交付金債務の増減の明細

（単位：円）

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額					期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	その他	小計	
平成16年度(承継)	131,806,387	—	—	—	—	—	—	131,806,387
平成17年度	279,160,374	—	155,194,334	—	—	—	155,194,334	123,966,040
平成18年度	251,091,634	—	204,488,336	—	—	—	204,488,336	46,603,298
平成19年度	143,672,898	—	101,996,533	—	—	—	101,996,533	41,676,365
平成20年度	—	11,282,893,000	10,884,068,727	290,276,484	—	△ 6,236,738	11,168,108,473	114,784,527
合計	805,731,293	11,282,893,000	11,345,747,930	290,276,484	—	△ 6,236,738	11,629,787,676	458,836,617

⑵　運営費交付金債務の当期振替額の明細

①　平成17年度交付分

（単位：円）

区　　分		金　　額	内　　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	155,194,334	①全ての業務において費用進行基準を採用している。 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：155,194,334円 （研究業務費：155,194,334円） ③運営費交付金債務の振替額の積算根拠 費用155,194,334円×100％＝155,194,334円
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
合　　計		155,194,334	